越ヶ谷秋まつりに行こう！

10月
10日(土) 11日(日)

江戸時代から300年以上続く越ヶ谷秋まつり。五穀豊穣への感謝と地域の発展を願う、越谷市を代表するお祭りのひとつです。令和8年1月に、「越谷久伊豆神社例大祭の山車行事」として越谷市無形民俗文化財に指定されました。これまで越ヶ谷八ヶ町が中心となって継承されてきた伝統とともに、次世代へつなげるための新たな一歩を踏み出しています。

問 久伊豆神社 ☎962-7136

見どころ 壱【山車】

迫力のある山車行事が越谷市指定無形民俗文化財に

越ヶ谷秋まつりの見どころは、宮本町が担ぐみこしと、それを迎える越ヶ谷八ヶ町の山車。8台の山車がまちなかを巡る様子は迫力満点。山車の曳き廻しを彩る、木遣唄やお囃子も見逃せません。越ヶ谷地域の皆さんによって古くからの習俗がしっかりと受け継がれています。

新石二の山車

高さは、なんと約5m。パラパラの部材を組み立ててまちなかを運行します。車輪が三輪で、鳶が力を合わせて一気に回す旋回は迫力十分。山車を飾る山車人形は、神話や歴史上の人物をモデルにしていて、大変貴重なものです。

【木遣】

もともとは重量物の運搬時に息を合わせるために歌う労働歌で、秋まつりでは鳶や町内の大人・こどもがそろって山車の曳き歌として歌います。町内のこどもたちは、一度は木遣を歌ったことがあるんだそうです。

【お囃子】

各町内から依頼された市内外の囃子連中が、山車と囃子舞台に分かれて演奏します。初日の午前0時に、年番町の一番太鼓がまつり開始の高まりを伝えます。山車の曳き廻しの終盤に、各町内がそろいお囃子をたたき合う姿は圧巻です。

秋まつりでしか味わえない
木遣や山車の迫力を感じて

新石二青年会長 絲川拓夫さん

越ヶ谷秋まつりは、江戸時代から300年以上続いています。山車も大切に保存されてきました。三輪の山車って珍しい、かっこいいと思うんです。通りを曲がるときやすれ違うときの迫力もすごくて。地元で責任や誇りを持って運営してきましたが、山車を曳く若手やこどもたちも少なくなっています。そのため、地元だけでなく、多くの人たちにも参加しやすい環境を作っていく必要があると思っています。まつりには、その場でしか味わえないライブの魅力があります。目の前から聞こえる木遣や山車の車輪がきしむ音などを感じてもらいたいですね。

見どころ 弐【渡御・還御行列】

みこしが神社から年番町内に設けられた御仮舎へうつされることを渡御、神社に戻ることを還御といいます。四十一種もの役割、担当があり、300人を超える大行列は県内最大級の規模。越ヶ谷秋まつりを代表する景観のひとつです。

声を掛け合い、地域と連携し
越ヶ谷に根付くまつりを未来へ

越ヶ谷秋まつり保存会会長
山崎守さん（写真左）・陽平さん（写真右）

越ヶ谷秋まつり保存会は、昨年11月に立ち上げました。伝統を大切にしながら、まつりの次世代への継承や地域振興を目的に活動しています。人材や資金などの課題もありますが、まつりをつなぎ、まちを良くするには人同士のつながりが大事だと実感しています。そのため、まつりを応援してもらおうといろいろな人に会って、まつりの魅力をPRしたり協力をお願いしたりして、周りを巻き込んでいるんです（笑）。越ヶ谷小学校では、こどもたちに木遣を教えているそうです。このようにまつりが地域に根付くための取り組みが大切だと思います。

見どころ 参【三神社・八会所・御仮舎巡り】

三神社（新町八幡神社、中町浅間神社、本町市神神明社）をお参り。八ヶ町神酒所と御仮舎でスタンプを9個集めて、久伊豆神社の御神木で作った記念木札をゲット！ 2日間限定で頒布される御朱印や、新町・本町屋台村、お祭り広場など、会場となる日光道中越ヶ谷宿をすみずみまで楽しめます。

地域のこどもたちに、まつりの思い出をたくさん残したい

越ヶ谷秋まつり実行委員会 南憲さん

昔は「バカまつり」と呼ばれるくらい派手なお祭りで、毎年のように開催していた時代もありました。その後、経済的な理由や担い手が不足したりして、開催できない年も増えてきたんです。次代につないでいくためにも、まずは隔年での開催を定着させていきたいと考えています。地域のこどもたちにまつりの思い出をたくさん残したくて。会場となる“まちなか”を巡って楽しんでもらったり、協力していただいた皆さんに山車を曳いてもらったりと、新しい取り組みも始めました。単なるイベントではなく、伝統ある地域のまつりとしてつないでいきたいと考えています。手応えはあります！

地域の大人とこどもみんなで作り上げる
まつりが生活の一部に

新石三 諏訪亜理沙さん（写真中央）

まつりは当たり前のように身近にありました。今年は女性で初めての交渉役という、山車を安全に運行するための役割を任せてもらえました。周りに支えてもらいながら、しっかりと務めたいと思います。

中町 会田妃南さん（写真右）

山車の上からまちを見たときの特別感が好きです。電線にひっかかりそうな高さなんですよ。受験生なので、当日はテストがあるんです。テストが終わったら走って帰ってきて、まつりを楽しみます。

中町 会田彩南さん（写真左）

2年前は、お稚児さんとして華やかな衣装で行列を歩きました。まつりに参加しているなって実感が湧きました。山車の先頭でじゃらん棒を持って音を鳴らす役が人気なので、今年は朝一で狙っていきます。

タイムスケジュール

10月10日(土)
- 10:20 みこしが久伊豆神社を出発（渡御）
- 11:00 山車に迎えられ、越ヶ谷宿内に入る
- 13:20 みこしが御仮舎に到着
- 16:00-18:10 山車の曳き廻し
- 19:00-21:10 山車の曳き廻し

11日(日)
- 10:30-12:40 山車の曳き廻し
- 14:15 みこしが御仮舎を出発（還御）
- 17:00 みこしが久伊豆神社に到着
- 19:00-21:10 山車の曳き廻し

詳細・最新情報は越ヶ谷秋まつりホームページをチェック！

広報こしがやの各記事は、市ホームページで詳細の確認や電子申請ができます。

問…問合せ FAX…ファクス ✉…メールアドレス HP…ホームページ番号